

日本人フランス語学習者の不定代名詞 onの使用をめぐる

2019年9月8日（日）

「フランス語，ポルトガル語，日本語，トルコ語の対象中間言語分析」
第8回研究会（於 東京外国語大学本郷サテライト）

東京外国語大学博士後期課程1年

鈴木拓真

suzuki.takuma.r0@tufs.ac.jp

発表の流れ

1. 不定代名詞onについて
2. 学習者によるonの使用に関する先行研究
3. コーパス
4. 用例とその分析
5. 結語

1. 不定代名詞onについて

1.1. 指示対象

- 指示対象の観点からonは非常に多様な用法を有していると言える。
- 不定代名詞onは不定の人間を指示する(= (1))ほかに、本来であれば人称代名詞を用いるような定の人間を指示(= (2))することがある。

(1) Au Québec, on parle français.

ケベックでは、人々はフランス語を話す。

(2) On est allés au cinéma hier.

昨日私たちは映画館に行った。

1.2. 形態統語的特徴

- Onの指示対象が誰であってもそれに続く動詞は必ず3人称単数形に活用させなければならない。

(3) nous nous on ne fait pas ça

私たちはそんなことしてないよ。

(TUFS_04Martha)

(3') *nous nous on ne faisons pas ça

2. 学習者によるonの使用に関する 先行研究

2.1. Dewaele (2002)

- 中上級レベルのオランダ語母語話者のフランス語学習者についての社会言語学的観点からの研究.
- 授業以外でフランス語に接する機会が多い学習者ほど、母語話者同様に1人称複数主語代名詞としてnousよりもonを使用する割合が大きい.

2.2. 伊藤・清宮・川口(2018)

- 中上級レベルの日本人学習者のonの使用に関して，学習者特性（フランス語学習期間・フランス語圏滞在経験）の観点から分析している.
- 1人称複数主語代名詞としてのonの使用は学習期間およびフランス語圏滞在期間が長いほど多く見られる傾向.
- 今後の課題点の一つ→ コーパスの拡大

2.3. 先行研究に関するまとめ

- 学習者によるonの使用に関する研究は非常に数少ないのが現状.
- また, 学習者に特有なonの使用についてもほとんど記述がなされていない.
- 中上級以上(おおむね**CEFR B2**以上)のレベルの学習者のonの使用についてしか記述されていない.

2.4. 本発表の目的

- 規模の大きい学習者コーパスを用いて，日本人学習者のonの使用について記述すること.

3. コーパス

3. コーパス

「現代フランス語中間音韻論(IPFC)」の枠組みで調査したインタビュータスクからonの用例を473例収集.

- インフォーマント

日本語を母語とするフランス語学習者48名(男性11名, 女性37名)

- 録音された場所

東京外国語大学(17名)・早稲田大学(16名)・福岡大学(7名)・西南学院大学(8名)

3. コーパス

- ・ 録音年

2015年または2016年

- ・ レベル

CEFR A1からC2レベル

(A1 1名, A2 2名, B1 14名, B2 13名, C1 7名, C2 3名, 不明 8名)

3. コーパス

- インタビュータスク質問例

No.1 Quel âge as-tu ? Et quelle est ta nationalité ?

何歳ですか？ また国籍はどちらですか？

No. 6 Est-ce que le français pour toi c'est facile ? C'est difficile ?

あなたにとってフランス語は簡単ですか？ 難しいですか？

(学習者の回答)

Pour quelles raisons ?

どんな理由でですか？

4. 用例とその分析

4.1. 1人称複数主語代名詞として

- nous(1例) / on (117例).

(4) MT1 : euh et après je suis retournée au Japon # et puis euh quand j'avais quinze ans **nous sommes retournés** en France # et # l'année dernière je suis revenue au Japon # bon voilà donc euh # **on part on revient on part on revient** [rire]

(jpto1mt1_1g)

えー，そしてそのあと私は日本に戻ってきてそれから15歳の時に私たちはフランスに戻り去年日本に戻ってきました。つまり私たちは行って帰ってきて行って帰ってきてと。

4.1. 1人称複数主語代名詞として

- Onを使用する例は他にも多数見受けられる。

(5)

SD1 : et cette amie belge elle était au Japon ?

KI1 : non # je on on s- on s'est rencontrées à l'Angleterre

(jpto2ki1_1g)

「それでこのベルギー人の友達は日本にいたのですか？」

「いいえ、私たちはイギリスで知り合いました」

4.1. 1人称複数主語代名詞として

- とりわけ現代のフランス語話し言葉では、多くの先行研究がすでに指摘しているように、1人称複数主語代名詞としてonが多用され、nousはほとんど使用されない傾向にある

(Coveney 2000 ; 鈴木 2018, 2019).

(6) mais j' ai l' impression que nous on était peut-être dans l'époque où il y avait des Boy's band mais j' ai l' impression que maintenant à l' heure actuelle y a pas vraiment de Boy's band

けどボーイズ・バンドのいた時代に私たちはいたと私は感じるけど、いまとなってはボーイズ・バンドはいないように感じるよ。

(TUFS_01Kathy)

4.1. 1人称複数主語代名詞として

- 本調査において日本人学習者が1人称複数主語代名詞として母語話者同様にonが多用されていることがわかった.



- 1人称複数主語代名詞にonが多用されていることは日本人学習者にとって比較的容易に習得できる可能性.

4.2. 前方照応的用法のon

先行する名詞をonが前方照応的にする用例(11例)

(7) AT1 : ah èh # j'ai écouté euh de le professeur # français # èh # elle dit # euh # que elle dit # elle a dit que# euh # des gens # qui habitent # au sud de France # ah nanteiebaiinarou [rire] euh on parle euh [rire] # mh ? # on parle euh # le français euh # gran- euh [rire] # mh ? # [coup de glotte] je ne je ne sais pas # comment [rire] # comment je dis # mais # euh elle a dit # èh # des gens qui habitent au sud # on # accent # oui

(jpfu1at1_1g)

ああ，ええ，フランス人の先生から聞いたのですが，彼女いわくフランスの南に住む人たちは，ああなんていえいばいいんだろう，(フランス語で)どう言えばわかりませんが，南に住む人たちはなまりのあるフランス語を話すのだと，はい。

4.2.前方照応的用法のon

(8) SM1 - # moi mh # s- euh moi je trouve que # c'est très difficile de de mh
mh euh # nante iuno kana ? de communiquer avec les Français et Japonais #
mh # on dit que on doit comprendre la la culture différent et # ouais la l- la
différent culturelle mais # mais tout d'abord on doit comprendre cette idée #
honne tatemae mais # les Français on ne comprend pas euh cette idée

(jpfu1sm1_1g)

私が思うに、なんていうのかな、フランス人と日本人とコミュニケーション取るのは難しいと思う。んー、よく文化の違いを理解しなければならぬといわれるけど、まずは本音と建前というこの概念を理解しなければならぬ、でもフランス人たちはこの考えを理解していない

4.2.前方照応的用法のon

- 母語話者の話し言葉において，前の(代)名詞を人称代名詞で照応的に指示する例は多く見受けられる。

(9) et alors quand il est arrivé **les gens ils** pleuraient Mickael Mickael
(imite les pleurs)

(TUFS_01Kathy.txt)

そして彼が来ると，人々はみなミカエルミカエルって泣いてたのよ。

(10) **Tout le monde il** se baignait, là-bas

(Blanche-Benveniste 2000 : 42)

みんなそこで水浴びをしてた

4.2.前方照応的用法のon

- しかしながら母語話者の話し言葉において，(7)，(8)のようなonで先行する名詞を照応的に指示する用例は見当たらない。
- 日本人学習者による前方照応的用法のonの使用は，(1)のように漠然と不定の人をonが指示できることを習得してるがゆえだと思われる。

(1) Au Québec, **on** parle français.

ケベックの人々はフランス語を話しています。

4.3. comment on dit と comment dire との混乱

Comment dit (41例) (cf. comment on dit : 15例)

(11) AH1 : mh # quand j'étais en France je je p- faisais je pouvais faire # **comment dit** il y a il y avait la liberté je pouvais faire euh tout ce que je veux

(jpto2ah1_1g)

フランスにいた時、なんていうんでしょう、自分のしたいことを全部できる自由がありました

Comment dire (52例)

(12) AH1 : donc euh je je pense pas que c'est nécessaire de # d'enseigner # **comment dire** à Montréal tout tout tout mais # on peut enseigner que il y a dialectes aussi à Montréal et ensuite je sais pas mais # ouais #

(jpto2ah1_1g)

つまり、私が思うに、なんていうんでしょう、モンtréalで全部を教える必要はなくて、モンtréalにも方言があつて、そしてわかりません。

5. 結語

5.1. まとめ

- 1) 1人称複数主語代名詞としてのonは習得が比較的容易？ また母語話者同様にnousは1人称複数主語代名詞としてほとんど用いられていない.
- 2) 母語話者の話し言葉には見られない前方照応的onが使用されることがある.
- 3) Comment on dit... ?とComment dire... ?との混同. Comment dit... ?の用例が多数見受けられる.

5.2. 今後の課題

以下の通り多くの課題が残されている．今後も学習者によるonを代名詞の使用についてさまざまな観点から量的・質的に分析し，継続して記述していく必要があるだろう．

- 学習者特性(学習期間など)との関係性を分析
- 自由会話での用例の分析
- 経年調査
- Onとパラダイムをなす代名詞との比較分析
(ex. 不定人称として用いられるon, tu, vousなど)
- Onと共起する動詞の分析

参考文献

- Anthony, L. AntConc (Version 3.4.2m) [Computer Software]. Tokyo, Japan: Waseda University, 2014. Available from <http://www.antlab.sci.waseda.ac.jp/>
- Blanche-Benveniste, C. (2000). *Approche de la langue parlée en français*, Ophrys.
- Blanche-Benveniste, C. et C. Jeanjean (1987). *Le français parlé*, Paris : Didier Erudition.
- Boutet, J. (1986). La référence à la personne en français parlé : le cas de “on”. *Langage et société*, 38, Paris : Editions de la maison des science de l’homme, 19-49.
- Bradley, Evan D. et al. (2015). Elicitation of french *on* v.s. *nous* in formal and informal contexts. *Research in Language*, Lodz : The journal of University of Lodz.
- Coveney, A. (2000). Vestiges of *nous* and the 1st person plural verb in informal spoken French, *Language Sciences*, 22 (4), 447-481.
- Dewaele, J.-M. (2002). Using sociostylistic variants in advanced French interlanguage. The case of *nous/on*, *EUROSLA Yearbook*, 2, Amsterdam : John Benjamins Publishing Company, 205-226.
- Fløttum, K., et al. (2007) *On : pronom à facettes*, Bruxelles : De Boeck et Larcier.
- Sylvain, D. et Y. Kawaguchi (2008). *Interphonologie du Français Contemporain (IPFC). Récolte automatisée des données et apprenants japonais*, Colloque Phonologie du Français Contemporain : variation, interfaces, cognition. MSH Paris.

参考文献

- 伊藤玲子・清宮貴雅・川口裕司 (2018) 「日本人フランス語学習者の自由会話におけるonの一考察」, 外国語教育学会第22回研究報告大会 (2018.12.16, 於 東京外国語大学)
http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ykawa/art/2018_JAFLE_Indefinite_on.pdf
- 近藤野里・川口裕司 (2009) 「IPFCと中間言語としての現代フランス語研究」, 『ふらんぼー』 34, 東京外国語大学フランス語研究室フランス研究会, pp. 51-67.
- 鈴木拓真 (2018) 「不定代名詞onと人称代名詞nousの人称論的観点からの一比較考察 - 口語におけるnousの代替のonに着目して -」, 『ふらんぼー』 43, 東京外国語大学フランス語研究室フランス研究会, pp. 72-86.
- 鈴木拓真 (2019) 「現代フランス口語における4人称主語代名詞について」, 修士論文, 東京外国語大学.
- CbLLE品詞検索エンジン (話言葉フランス語)
<http://cblle.tufs.ac.jp/tag/fr/index.php?menulang=ja>, 東京外国語大学.

謝辞

本研究は、

- 科研費 15H03227 基盤研究(B) 「A corpus-based multi-level analysis of spoken French produced by pre-advanced Japanese learners of French」 研究代表者 Detey Sylvain
- 科研費16H03442 基盤研究(B) 「フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析」 研究代表者 川口裕司
の助成を受けたものです。